



## 第 1223 回例会報告

平成 23 年 5 月 19 日(木) 晴

## 会長挨拶

会長 長崎政直

## 新エネルギー政策:ジェネシス計画

東日本大震災から早、2ヶ月余が過ぎようとしています。そして、この地震によって引き起こされた災害への対応は、政治・経済・文化教育・福祉・環境等々・今の日本のあり様を理解する機会となっています。

そんな中で、福島原発事故にはじまるエネルギー問題は、特に、我々の価値観、哲学等を映し出すと思っています。

政府もじっくり取り組んで決めることを宣言しました。次回の衆議院議員選挙では、大きな争点になるかもしれません。

原子力発電を始める時にも反対運動はありましたが、国民運動としての大きな動きにはなりません。安全神話に騙されたとも言えるかもしれません。無論、導入に政治的に関わった正力松太郎氏、中曽根康弘氏、稲葉修三氏等々は今日の状況を想定していなかっただろうし、安全を信じていたでしょう。

アイゼンハワー大統領の国連での原子力の平和利用演説を受けて、国会でその研究費が通過したのは、1954年です。当時、国民・有権者で、その決定を自分達でしたという自覚を持つ人は、極めて少ないでしょう。

しかし、今日のこの事態で、これからのエネルギーの選択に関わらずにいることは、日本国民の義務と権利を放棄することだと思ふのです。そして、この選択は結構厳しく、きつい選択になるだろうと、そして、戦後導入された民主主義というものが、試される時だと思っています。後になって、自分以外の誰かが決めたと責任を転嫁することは許されないからです。

これは、私たちの有史以来築き上げてきた文明を、後世に継続的に維持・発展させていくために、私たちはどんな選択をするのかという課題です。

そんな問題意識の中で、このことに関係する事柄を調べてみました。その中間発表みたいなものが、本日、レターケースへ入れておきましたレジメです。\*注

この事態の中で、有力な案が、「ジェネシス計画」「人工太陽」「トリウム原発」等です。まだまだあるのだろうかとは思っています。

そして、下の図ですが、左側が、有限な一過性のエネルギーを基にした現状及びその延長上の危機を示し、右側が再生可能な太陽光をエネルギー源とし、高温超電導ケーブルを使う新エネルギー計画です。

太陽光を利用する太陽電池パネルですが、800km四方に現存のパネルを敷き詰めると、現在地球上で使われている電気エネルギーを賄えるということです。それは日本国土の1.7倍、世界の砂漠の4%だそうです。また、高温・超電導ケーブルですが、既に、アメリカ・ニューヨーク州・アルバニー市では、350mが敷設され稼動していますし、日本では、新エネルギー研究の中心機関NEDOで500mの実験プロジェクトが始まっています。

原子力発電も今日までに至るには、最初の発電から48年しか経っていません。GENESIS計画も30年、50年という時間幅で考えれば、夢の世界ではないと私には思われず。資金が多くかかっても、安心・安全のエネルギーで、文明社会の維持・発展を図っていくことが大事だろうと思っています。

[\\*注 配布された資料は、ホームページ上にも記載してあります](#)

## ■ニコニコBOX

24名	32,000円
累計	113,5000円
目標額	130万円
達成率	84.0%

## ■今週のことば

JTBより表彰を受けました。うれしかったです。

仕事また頑張ります。

北原 厚子

## ■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	26名
出席率	74.24%
前回修正	82.8%

## ■次回のプログラム

- 5月29日 AM6:20  
「和田峠清掃」  
秋宮集合
- 6月2日 休会
- 6月9日 AM6:00  
「早朝例会」  
平福寺



## ◇幹事報告◇

1. 以下の文書を受領・配布致しました。
  - ①2009-2010事業報告書が配布されましたのでご一読下さい。
  - ②ロータリーの友5月号 ガバナー月信No.11が配布されました。
  - ③岡谷エコーより3月6日に開催されたIM報告書が配布されました。
  - ④国際ロータリー財団2009-2019報告書が届きました。
  - ⑤地区ロータクト機関紙が届きました。
  - ⑥RCウィークリー(大津中央・茅野・諏訪大社・岡谷・諏訪)が届きました。
  - ⑦5月29日(日)第1225回例会(環境の日)詳細連絡文が社会奉仕委員会より配布されました。ご確認

## 1223 回例会

## 「諏訪市議会議員になって」

森山広会員 会員卓話

諏訪市議会議員となって忙しい毎日を送る森山広会員による、選挙中の話や、議員になってからの忙しい日々のお話、悲喜こもごもの話を聞きました。

体を大切に「大志」を失うことなくますます活躍なされますことをお祈りいたします。

